

今月の



隣に伝えたい

新たな言葉と概念

## 【The WhOM】

英 Wheelchair Outcome Measure

和 車椅子使用者のアウトカム指標

略 The WhOM

The WhOM はカナダの University of British Columbia のリハビリテーション研究チームによって開発された、車椅子を利用する人々の生活の質や満足度、活動への参加、車椅子の快適性を評価するための測定ツールです。Part I では患者が自宅や社会生活活動においてどのような課題やニーズを持っているか尋ね、各々の重要性と満足度を 0-10 のスケールで評価します。Part II では車椅子使用時の快適性やポジショニングの満足度、皮膚障害について評価します。初期評価で患者の抱える課題やニーズを明らかにし、介入（例：車椅子の処方・調整）後に再度測定を行い、改善度や満足度の変化を比較検討します。患者の視点を重視しており、車椅子が個人の日常生活や社会生活に与える影響を包括的に理解し、適切な支援提供につなげやすいメリットがあります。

参考文献：

Mortenson WB, Miller WC, Miller-Pogar J. Measuring wheelchair intervention outcomes: development of the wheelchair outcome measure. Disabil Rehabil Assist Technol 2007 ; 2 : 275-85.

## 【FMA】

英 Functional Mobility Assessment

和 機能的移動能力評価

略 FMA

FMA はアメリカの University of Pittsburgh などの研究チームによって開発された、移動機器（車椅子や歩行器など）を利用する人々の移動能力や満足度を評価するためのツールです。利用者がどの程度自立して移動できるか、移動が生活の質にどう影響しているか包括的に測定し、機器の適合性や改善の必要性を明らかにすることを目的としています。評価項目は、安全性、自立性、快適性、移動速度、労力、持続時間、地形への適応性、社会参加への影響、満足度、全体的な移動の有効性の 10 項目で、各々 1-6 のスケールと非該当で評価します。初期評価で移動機器の使用状況や日常生活での課題を特定、介入（例：機器処方・調整）後に再評価し変化を比較検討します。単なる移動能力だけでなく、心理的・社会的要因も考慮するため包括的な理解がしやすいメリットがあります。

参考文献：

1. Kumar A, Schmeler MR, Karmarkar AM, et al. Test-retest reliability of the functional mobility assessment (FMA): a pilot study. Disabil Rehabil Assist Technol 2013 ; 8 : 213-9.
2. Paulisso DC, Schmeler MR, Schein RM, et al. Functional mobility assessment is reliable and correlated with satisfaction, independence and skills. Assist Technol 2021 ; 33 : 264-70.

（国立病院機構大阪刀根山医療センター 松村 剛）

本誌 4 p に記載